

# 製造業向け収益向上のための原価管理システム構築【オンラインライブ】（4124246）

「儲かる工場」の実現に向けた仕組み、仕掛けを紹介します。一番大事なことは正しい考え方・方法と手順でやるということです。まず、本当の「原価」とは何かを明らかにし、次の一手として原価管理システムを構築します。何よりも大切なことは正しい「管理技術」に気づくことです。この管理技術の一つが原価管理です。

開催日時	2024年5月23日(木) 9:00-16:00ライブ配信
カテゴリ	IS導入（構築）・IS保守 <a href="#">詳細を見る</a>
講師	八木弘泰 氏 （株式会社管理技術ラボ 代表取締役） 中小企業診断士、特許、情報処理技術者、富士通のSEとして、製造業向けのシステム構築に17年間従事。本邦初の生産管理パッケージ「MAPS-V1」を開発。2010年「管理技術」の製造業・農業への普及、定着化のため、「管理技術ラボ」を設立し、「製造業の競争力強化」のため、超上流工程から定着化・効果測定まで「業務再構築」を実施できる「ASQJDE」を開発し、事業展開を行っている。 注）ASQJDEとは、業務再構築のための管理技術を駆使したコンセプト・メソッド・ツールを体系化した方法論
参加費	JUAS会員/ITC: 35,200円 一般: 45,100円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信（指定会場はありません）
対象	原価管理の設計、保守、運用を担当されているSE <a href="#">詳細</a>
開催形式	講義
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践カポイント対象のセミナーです。（28時間ポイント）
ITCA認定時間	6

## 主な内容

### ■受講形態

ライブ配信（Zoomミーティング） [【セミナーのオンライン受講について】](#)

### ■テキスト

開催7日前を目途にマイページ掲載

### ■開催日までの課題事項

特になし

## 製造業向け収益向上のための原価管理システム構築

～「儲かる工場」の実現のために「管理技術」に気付く～

残念なことに「一生懸命に間違ったことをやる」ということが散見されます。

一番大事なことは正しい考え方・方法と手順でやるということです。

本セミナーは「儲かる工場」の実現に向けた仕組み、仕掛けを紹介します。

まず、本当の「原価」とは何かを明らかにし、次の一手として原価管理システムを構築します。

何よりも大切なことは正しい「管理技術」に気づくことです。この管理技術の一つが原価管理です。

### ■主な内容

#### 第1部 原価管理で利益を上げる

##### 1. すべての企業で「原価計算」は実施

－それは、財務会計目的の「ドンブリ勘定」の原価計算です

##### 2. 儲けるための原価計算は「製品別原価計算」

－製品別とは、中間品目も部品も原価が計算できる仕組み

##### 3. 原価計算は、単純な計算

－材料費、労務費、経費の費目毎に「単価×数量」で求める

－費目の設定で悩みます－目的を定め自由に費目設定する

－化粧品会社は材料費を容器費・原料・副原料に費目を設定

##### 4. 原価計算の概念図

－一般の原価計算とABC原価

##### 5. 実際原価計算のウソ

－コンピュータで正確に製品別実際原価表が計算されるが

##### 6. 真の原価とは

－本当の「製品の原価を知りたい！それは実際原価、標準原価

－多くのトップは、「実際原価」を知りたい

##### 7. 真の原価は標準原価

－実際原価は製造都度変動、製造後確定する事後情報

－標準原価とは、「正しい方法・手順」で製造された際の原価

##### 8. 「正しい方法手順で制作された際の原価」が標準原価

－歩留0、操業度100%等々の理想原価ではなく、現行のレベルの生産技術等を加味し、かつ科学的に設定された原価

##### 9. 正しい実際原価を求める解決策は 10. 原価管理とは

－「基準・標準」の存在に対して、「実際」を把握し、「差異」を改善

- 原価は、前述の単価×数量ですから、単価差異+数量差異=原価差異
- さらに単価差異をドリリングして、操業度差異、予算差異等を把握改善
- 10. 原価管理は標準原価と実際原価で成り立つ
- 基準・標準の無い仕組に「管理は存在しない」=管理技術の基本
- 11. 何が何でも「標準原価」の仕組を作る。(部品・原材料)
- 原価標準を設定する 13. 何が何でも「標準原価」の仕組を作る2 (加工費=労務費+経費)
- 5%程度、「作業標準」を真面目に設定、他の品目はポイント法で設定

## 第2部 原価管理システム構築手順

### 1. 目的の選択

- 財務会計に正しい原価を提供したい
- 特定の製品の実際原価を知りたい
- 商談毎の見積原価を算出したい
- 限界利益から製品のプロダクトミックスを
- 原価低減を継続的に実施したい

### 2. 原価計算の選択

- 商的工業会計
- 特殊原価調査と原価計算制度
- 見積原価計算
- 直接原価計算と全部原価
- 標準原価と実際原価：原価管理

### 3. 原価管理の構築手順

- 目的の選択
- 原価低減を継続的に実施する
- 抜本的構築と暫時的構築

### 4. 設計項目と方法

- 費目の設計
- 原価部門の設計
- チャージ計算
- 製造間接費の配賦基準
- ABC原価

### 5. 定着化と管理職の役割

## 第3部 管理技術で利益を上げる

### 1. 管理技術による利益の獲得(利益率5割アップ)

- 「管理技術による利益」
- 獲得される「利益項目」の説明
- 「業務再構築(BPR)」の目的は、「新たな利益の獲得」その一部が原価管理

### 2. 管理技術とは

- 業務知識ではない
- 「正しい考え方・正しい方法手順」が存在する

### 3. 業務毎の正しい方法手順とは-各業務の目的は何か

- 在庫管理：「在庫精度の維持」が目的…在庫低減ではない
- 工程管理：「作業指導」が目的
- 某社の工程管理のタブレット失敗例 製造業向け収益向上のための「原価管理システム構築手順セミナー」